

さんえす交流会対応力アップに向けて

■さんえすクラブ研修会が開催されました■

さんえすクラブ会長 (株) 浜食 中村 秀一郎

2012年4月14日に行われた「さんえすクラブ研修会」には大勢の会員と、生活クラブ・福祉クラブの両生協から多数ご参加頂きまして盛大に開催する事ができました。

第一部のテーマ「W・Co 運動について学ぶ。」では、知っていた様で知らなかった事が沢山あり、ワーカーズ・コレクティブの誕生から特徴、組織運営や今後の展望等、非常に興味深い話をデポットの櫻井様と福祉クラブ生協の西尾様よりご講演頂きました。

第二部では「さんえす交流会対応力アップに向けて」というテーマで約50分のグループディスカッションを4班に分けて行いました。

各班のコーディネーターも事前に懸念されていたディスカッションの方向性に苦慮したものの、良くも悪くも全員から意見が出てたいへん有意義な時間になったと思います。ディスカッション自体が何かを決定するためのものでは無かったので、最終的な各班の発表では当初の目的だった交流会の対応力アップとは違うところへ着地してしまった班もあり、今後の研修会への反省材料として残りました。しかし今後の「さんえすまつり」への大きなステップアップになった事は間違いなく、このあたりは大きな収穫であったと思います。更に各班にて発言して下さった両生協の方々の生きた意見を直接聞く事ができ、会員メンバー各位も色々収穫の多い研修会であったと思われます。

研修会終了後の懇親会では、会員メンバーも両生協の方たちと共にディスカッションした事で緊張も解け、スムーズな意見交換に華を咲かせた様子でした。出席された会員メンバーには今回の研修会を糧に、これからの活動に大いに期待したいと思います。

- 開催日時：2012年4月14日(土) 14:00～17:35
- 開催場所：生活クラブオルタ館301
- 参加者：さんえすクラブ会員会社 15社 18名
生活クラブ 10名 福祉クラブ 6名

●内 容：

第一部 講師を招き学習会

テーマ 「ワーカーズ・コレクティブ運動について学ぶ」

講 師 W.Co デポット副理事長 櫻井 千賀子様

福祉クラブ生協副理事長 西尾 洋子様

第二部 さんえす交流会対応力アップに向けて

「テーマ消費材を設定してグループディスカッションを行い、

その優位性を伝える為の着眼点や手法を学び、伝える力の獲得につなげる」

- A グループ 8名 テーマ消費材「冷凍餃子」 コーディネーター (株)ニッコー 山崎さん
- B グループ 8名 テーマ「生き活きさんえす・さんえす HP」 コーディネーター (株)エコ・グリーン大貫さん
- C グループ 8名 テーマ消費材「冷凍餃子」 コーディネーター (株)カジノヤ 宮下さん
- D グループ 8名 テーマ「生き活きさんえす・さんえす HP」 コーディネーター (有)川口さん

- 懇親会：レストランWeにて



グループディスカッション

食品コーディネーターより

(株) ニッコー 山崎雅文

研修会コーディネーター役を終えて

さんえすクラブの研修として、私自身も初めての経験でありました。

発案の段階から皆全員が「どのように当日を進行していくか」が大きなテーマとなりました。ただし、消費材をこれからどのような形でアピールしていくかという意味では大変意味のある内容だったとあらためて感じました。

初めてということもあり不安ごとが多少予測的中という面もありましたが、「どのように進めて行くか」「今回の経験を今後どうかするか」というところで、非常に良かったと思います。

着目する視点をいろんな角度から見ることによって養われる事が数々と得られます。話だけでは終えず、今後行動を通して消費材の良さをより生産者から伝えられていければ今回の研修がいかされた証拠となると思います。

至らないコーディネーター役でしたが、次回以降の良い経験をさせていただき、ありがとうございます。



参加のご協力をいただきました職員また理事、組合員の皆様に感謝申し上げます。

非食品コーディネーターより

(株) エコ・グリーン 大貫正人

さんえす研修会グループ討議の感想



さんえす研修会第2部では「さんえす交流会対応力アップに向けて」をテーマにグループディスカッションを行いました。

テーマになる消費材を設定し、その消費材の優位性を伝える場合に何に重点においてプレゼンしたほうがよいかグループディスカッションを行い、着眼点や手法を学び、各々の生産者の伝える力を向上させることが目的でした。

テーマは食品は「餃子」、非食品は「生き生きさんえす&ホームページ」と設定し、4グループにわかれて討議を行いました。

私は非食品のコーディネーターを担当しました。ディスカッションの趣旨は発想や手法の意見を出し合い学ぶということで、テーマ自体の改善が目的ではありませんでしたが、ディスカッションが始まると、生き生きさんえす&ホームページをより良くするための具体的な意見や提案が活発に飛び交いました。

本来の趣旨とは違う方向に話が進み、コーディネーターとして上手く進行出来ませんでした。生き生きさんえす&ホームページに対する貴重な意見がたくさん出てきたので、結果として実りある討議になったと思います。

生活クラブ生協 元副理事長 一政伸子

「さんえすクラブ」の研修会に毎年参加させていただいていますがずいぶん工夫がされるようになってきたなと感心しています(失礼!)。座学だけではなく、グループディスカッションを取り入れたり、学習の内容も生活クラブ運動を学ぼうという積極性が強く感じられ、運動と共に広げるパートナーとして嬉しく思います。

今回の研修ではBグループの「生き生きさんえす・さんえすHP」の活用についてのディスカッションに参加しました。生産者と組合員、それぞれの立場から、どうやったらこの広報媒体を有意義なものにできるか、今までになく率直に意見を出し合うことでたくさんアイデアが出てきました。生活クラブの共同購入は、生産者と共に材をつくる運動です。消費材の利用を高めていくには、これまで以上に生産者と組合員の結びつきが重要になります。

お互いがそれぞれの思いを主張し、意見を闘わせ、双方をお客さんにしない関係性を力に生活クラブ運動を共にひろげていきましょう。

福祉クラブ生協 理事 大場 英美

昨年開催された「さんえすまつり」での経験から、さらなるアピール力や何を重点にプレゼンするか、どのような視点で?手法は?など第2部のグループディスカッションでは、食品「餃子」をテーマの材としてそれぞれ意見交換を行いました。

ただ聞いているだけよりも言葉のキャッチボールがあるといいよね!とか餃子の上手な焼き方、実演があるとおもしろい!、家族構成を考えた・焼くだけでない食べ方提案、保存方法、市販品との違い、優位性、添加物のこと、表現をおもしろく「笑い」も取り入れポイントをしばって!等々。様々な意見や質問もでて、今後の交流会開催に向けて、生産者の皆さんの熱意が感じられた研修会でした。

組合員にとって、身近な消費材であっても、まだあまり利用したことのない消費材であっても、生産者交流会を通して直接会って説明を聞くことは、生産者の想いが伝わる良い機会だと思います。食の安心や消費材の価値や次世代にも継続して利用するための協力の力、共同購入運動の大切さなどにもつながります。今後の交流会を楽しみにしています。

さんえすクラブ会員紹介

(株) 豆彦

所在地：横浜市港南区港南台6-33-11 045-832-7210

JR根岸線 港南台駅 より徒歩20分

取り組み品目：豆腐類、油揚げ類、湯葉の製造販売

センターライン（旭、小田原、港南、葉山センター）豆腐類、揚げ物類、乾燥おから

デポー（すすき野、霧が丘、日限山、らいふたうん、ちがさき、東戸塚、ほんもく）豆腐類、揚げ物類、湯葉類、乾燥おから

主な取引先：生活クラブ生活協同組合神奈川、百貨店、スーパー、料理店等々



事業活動に関して 国産大豆とニガリにこだわって創業以来精進を重ねてまいりました。この間、豆腐の風味を最大限に引き出す様々な工夫をして来た結果、煮上がったアツアツの豆乳を殆ど冷ますことなくニガリで凝固させられる技術確立しました。その造りたての風味をそのまま皆様に味わって頂く為に加熱殺菌処理をしない生豆腐を供給させて頂いております。使用大豆は佐賀県小城郡産「フクユタカ」（契約栽培、減農薬）、新潟県産「エンレイ」をブレンドしております。ニガリは伊豆大島産「海精ニガリ」を使用しております。揚げ物類に使用している菜種油は、

非遺伝子組み換え菜種を契約栽培にて西オーストラリア（西オーストラリアでは現在、遺伝子組み換え作物の栽培が禁止されております。）で栽培されたものを国内工場（岡村製油）で製造しております。菜種油は酸化しにくい良質の油なので、なるべく油抜きせずに召し上がって下さい。これからも弊社は、安心、安全、そしておいしさにこだわった消費材を供給して参りますので、宜しくお願い致します。

和光農園グループ

所在地：和歌山県海南市下津町曾根田643

取り組み品目：柑橘類（温州みかん、ネーブルオレンジ、レモン、ポンカン、木成りはっさく、甘夏、ポン酢用ダイダイ、清見オレンジ、三宝柑、ジュース用原料みかん）

主な取引先：生活クラブ生協連合会、生活クラブ生協神奈川デポー、個人直販等

事業活動に関して

わたしたちは本州最南端和歌山県の北西部に位置する有田、下津地域で急傾斜面の段々畑を利用してみかんなどの柑橘類を作っている小さなグループです。化学肥料を全く使わず、化学農薬も再生産に最低不可欠なものだけを使用し、それも栽培の前半のみとしています。

有機リン剤の使用を止め、要改善農薬である環境ホルモンの疑いのある農薬（ダイセン類）も昨年全廃しました。慣行では使用必須で私たちも長年使用してきた農薬を全く使用しない事にはためらいがありました。外観が著しく悪くなって組合員さんに利用してもらえないだろうか、クレームがたくさん来るのではないかと。しかしそれらは杞憂でした。苦労して挑戦したことをちゃんと受け止めてもらえて心強く、今年も要改善農薬使用ゼロに取り組んでいます。一昨年から地元小学校と連携し出前事業やミカンの収穫体験など食育にも力を入れています。

また最近では温暖化対策や組合員さんの要望に応じてアボカドやグレープフルーツ栽培にも挑戦しています。グレープフルーツは順調で今年春はじめて実りました。



役員会報告

さんえす事務局長 小林 利明
共生食品(株)

5月下旬から6月初旬にかけて開催された、各生協総代会へ、下記の通りに出席しました事を報告致します。

5月29日	横浜北生活クラブ生協	1名参加	5月29日	横浜みなみ生活クラブ生協	2名参加
5月31日	湘南生活クラブ生協	1名参加	5月29日	さがみ生活クラブ生協	1名参加
6月1日	かわさき生活クラブ生協	1名参加	6月1日	福祉クラブ生協	1名参加
6月11日	生活クラブ生協神奈川	2名参加			

訃報

平成24年7月4日 さんえすクラブ会員 有限会社アキヤマ食品 代表取締役会長 秋山房男様のご逝去されました。7月6日の通夜、7月7日の告別式には、さんえすクラブ会員も弔問し、ご生前のご功績を偲び、ご逝去を悼みました。謹んでお悔やみを申し上げます。

交流企画部会 報告

交流企画部会長 川口 圭
(有)カワグチ企画

今年もまた好評だった、さんえすまつりの開催が決定しました！研修を通して『アピール』することの大切も感じ取れたかと思えます。これからは待っていても何もありません！生活クラブ・福祉クラブと連携することにより社会における消費材の価値を再確認でき、皆様にとっても有益になると思えます。そのためにまず一歩を踏み出しましょう。基本は『参加』です☆

情報部会 報告

情報部会 宮下正一
(株)カジノヤ

さんえすクラブのホームページでは、組合員の皆様方へお届けしている消費材やサービスの生産者紹介を始め、消費材を使ったおすすめ料理のレシピを掲載しています。

また、各生産者が交代でリレーエッセイを発表しています。本誌（生き活きさんえす）とは違う切り口で各種情報をお届けして参ります。「さんえすクラブ」で検索して、是非ご覧ください。

Webサイトにぜひ情報をお寄せ下さい

ニュース&トピックス毎月更新します。
積極的な貴社アピールをお願いします。
消費材・製品情報、イベント情報、企業活動紹介etc

さんえすクラブ

検索

12年度も

「さんえすまつり」開催します

日時・場所 12月4日(火)
生活クラブオルタナティブ生活館
全会員参加のほどお願い致します

●ふくしまつりに参加しました。

6月4日(日)福祉クラブ生協の「第17回ふくしまつり」が開催され、さんえすクラブから会員12社が参加しました。当日は快晴にもめぐまれ、全22会場に8140人もの方が来場し、15会場で加入25名、売上・チャリティカンパ412万円と、今年もたいへん盛況でした。



生活クラブ事務局報告

今年から、さんえすクラブの事務局になりました事業部の星野裕です。よろしくお願ひします。昨年まで地域生協にいたため、さまざまな場面で、さんえす会員の皆様とは面識があったのですが、事務局になって研修会や事務局役員会、協議会などに参加して、さんえすクラブ

の活動が非常に活発かつ豊富になっていることを感じます。

この秋は、デポ-のさんえすウィーク(9月3日(月)～8日(土)、班戸のさんえすキャンペーン、12月4日にさんえすまつりの開催など、会員の皆様とともに行う企画がたくさんあります。

また、さんえす交流会の企画書も現在更新中です。組合員は、その企画書を見てどの生産者と交流しようか決めていきます。未提出の方は、早めに星野まで提出をお願いします。

生活クラブ神奈川事業部 星野裕

◆ 2011年度通期データ ◆

1. 生活クラブ組合員人数報告(12年3月末)

班・戸配	47,671人
デポ-	20,303人
計	67,974人
4月～3月拡大数	-78人

2. 生活クラブ供給報告(4月～3月累計)

班・戸配	161億4058万円(100.9%)
デポ-	42億7805万円(95.4%)
計	204億1863万円(99.7%)
一人当たり利用金額	
班・戸配	27,782円

3. 福祉クラブ報告

デポ-	17,539円
組合員人数	15,844人(11年3月末)
供給高(4月～3月累計)	25億5,044万円(前年比 101.8%)
一人当たり利用金額	13,607円